

# 小型犬の膝蓋骨内方脱臼の外科治療

## 大腿骨滑車再建術 & 脛骨粗面転移術 1DAY ドライラボ

東京開催

2026 2/22 10:00~16:00 (日)

 駐健保会館 4F 大会議室  
 (東京都港区芝3-41-8)

### 実習 & 講義の内容


 事前学習動画で実習へ臨もう！

#### 実習

1. 大腿骨滑車再建術 2. 脛骨粗面転移術

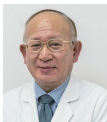
#### 講義

1. 膝蓋骨内方脱臼の病態と手術適応
2. 膝蓋骨内方脱臼治療に必要な基本的な外科手技
  - ・ 膝関節へのアプローチ
  - ・ 大腿骨滑車再建術
  - ・ 脛骨粗面転移術
  - ・ 脛骨内旋制動術
3. 膝蓋骨内方脱臼の術後合併症

#### 実習のポイント

- ▶ 膝蓋骨内方脱臼(MPL)に対する一般的な治療法を18名限定で実習
- ▶ オリジナルのMPL病態骨モデルを1人3肢使用
- ▶ 使用した完成骨モデルは持ち帰り可
- ▶ パワーツール・実習器具は、3名に1組をご用意
- ▶ 3名1組で、術者とアシスタントを体験

#### 講師

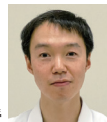

**原 康** 先生

 日本獣医生命科学大学  
 獣医外科学研究室 教授

**藤田 幸弘** 先生

 麻布大学獣医学部  
 小動物外科学研究室 教授

**原田 恭治** 先生

 日本獣医生命科学大学  
 獣医外科学研究室 准教授

**一戸 登夢** 先生

 麻布大学獣医学部  
 獣医臨床看護学研究室 講師

 定員制  
 限定 **18** 名

### 開催にあたって

国内ではトイプードルやチワワなどの小型犬の飼育頭数が多いことに関連して、日常の診療において膝蓋骨内方脱臼 (Medial patellar luxation: MPL) 罹患例に遭遇する頻度は少なくありません。一般的に MPL に罹患した小型犬の臨床型は 3 タイプ、すなわち、①骨格形成期初期に大腿骨および脛骨に重度の骨格変形を伴い発症するタイプ、②骨格形成期中期から壮齢期にかけて大腿骨および脛骨に軽度の骨格変形を伴い発症するタイプ、そして③壮齢期から高齢期にかけて骨関節炎および前十字靭帯損傷を伴うタイプに分類されます。臨床的には、これらの中でも、外科治療を行う機会が多いものは②のタイプとなります。このカテゴリーの MPL 罹患症例では、大腿脛骨関節の回旋不安定性、あるいは大腿骨および脛骨の軽微な骨変形を伴っていますが、その多くで、大腿骨滑車再建術、脛骨粗面転移術、脛骨内旋制動術、そして軟部組織の修復を主体とした術法で治療することができます。しかしながら、その診断そして外科手技について学ぶ機会は限られています。このドライラボでは、このタイプの MPL 罹患膝関節に対する基本的な再建手術法を、小型犬の膝関節骨モデルを使用して修得することを目的として企画しています。なお、教育内容は小動物整形外科分野のエビデンスに基づいたものとなります。MPL の外科治療に関心を持ち、これから真剣に実践することを考えている先生方には是非ともこの機会に学んでいただきたいと思います。


 会場受講料  テキスト付き

**会員 獣医師 49,000 円** (税込53,900円)

※法人会員施設は勤務医も割引対象

**一般 獣医師 72,000 円** (税込79,200円)

 上記に  
**実習材料費 36,000 円**

- 事前学習動画付き
- テキスト付き (当日配布)
- 膝蓋骨内方脱臼(MPL)症例骨モデル
- 昼食付き

**実習で用いる器具類は  
 ご用意いたします**

 ※ 実習で使用した材料、骨モデルは  
 終了後にお持ち帰りいただけます。  
 ※ 器具は貸し出しとなります。

**お申込み・詳細  
 はこちら**
